

2020年度第2回日本臨床検査医学会 臨床検査専門医・管理医審議会 議事録

日時：2020年10月9日（金）13：00～14：30

開催方法：Zoom 会議

場所：日本臨床検査医学会 事務所（ホスト会場）

出席（10名）：

村上正巳（委員長）

東條尚子（副委員長）

▽谷直人（研修施設・指導者認定委員長）

三宅一徳（受験・更新資格審査委員長）

木村 聡（臨床検査専門医制度検討委員長）

山田俊幸（試験委員会、2020・2021年度 臨床検査管理医試験実行委員会、日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会/医研修プログラム認定委員会 委員長）

東田修二（2020・2021年度 臨床検査専門医試験実行委員長）

菊池春人（日本臨床検査専門医会代表）

橋口照人（教育委員長）

吉田 博（Subspecialty 検討小委員会委員長）

村上正巳委員長より開会宣言の後、議事を進行した。

1. 第12回臨床検査管理医認定試験実行委員会報告（2020/10/12-25, オンライン）（山田俊幸 管理医試験実行委員長）

9月13日に東京医科歯科大学において実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送り、10月12日（月）0：00～10月25日（日）23：59に、講習・試験とも、eラーニングシステムを利用したオンラインにより実施する。

通常予定の講義を音声入りのパワーポイントで提供し、通常開催と同様の試験を課す。視聴は回数制限無し、試験は1回のみ実施可能とした。

現時点で、当初の予定者35名全員が受講予定であり、可否は審議会の承認を経て、11月中旬ごろに学会HPに掲載する予定であることが報告された。

（株）アイアイシステムズからのオンラインでの講習・試験機能の見積り（約54万円）が提示され、承認された。

2. 第37回臨床検査専門医認定試験実行委員会報告（2020/9/12-13, 東京医科歯科大学）

（東田修二 臨床検査専門医認定試験 実行委員長）

2020年9月12日（土）と13日（日）に、東京医科歯科大学で、第37回臨床検査専門医認定試験を実施した。新規受験が18名、科目再受験が2名で、試験は大きな問題はなく、予定通りの時刻に終了した。なお、5名がCOVID-19に関する施設事情などにより辞退したが、次回の受験を希望しており、受験料は次回の試験に適用することとした。

2020年9月17日（木）に判定会議（第3回試験委員会・試験実行委員会合同会議）を、匿名化した資料を用いてZoom会議で行った。提示された素点のままを総合成績とし、申し合わせた基準（総平均点60%以上で40点未満の科目なしを総合合格とする）にしたがって可否判定を行った。

新規受験者16名と再試験者1名が合格基準に達したため合格と、また、新規受験者2名と再試験者1名が合格基準に達していなかったため不合格と判定した。

以上が報告され、審議会でも承認された。

3. 試験委員会報告（山田俊幸 試験委員会委員長）

2020年9月17日（木）にZoom会議で、試験委員会と試験実行委員会合同で判定会議を開催した。東京医科歯科大学スタッフの協力により無事に執り行われた。17日の時点で、関係者に体調不良者はでていない。全体の成績の平均は約70%であった。問題は吟味されていたが、一般・臨床化学、臨床微生物、総論のMCQの平均が低かったため、次年度の問題作成の参考とする。

4. 第38回臨床検査専門医認定試験について（山田俊幸 試験委員会 委員長、東田修二 臨床検査専門医認定試験 実行委員長）

2021年度実施の第38回臨床検査専門医認定試験は、新専門医制度初回の試験であり、機構の基準に従った概要が示され、審議会でも承認された。

- ①筆記と実技(面接含)とし、配点は1:1とする、
 - ②総合60%で合格とし、科目再試験は行わない。
 - ③筆記はMCQ100問（各科目14、15問）とし、視覚素材でもMCQにできるものは含める。
 - ④実技は可能なら動画による視覚素材とし記述で回答する問いを含める。
 - ⑤面接は総論の実技相当とする。
 - ⑥試験を1日で行う、また、旧制度対象者には新制度の試験を課し、合格基準、科目受験の考え方は現行に準ずる、
- ただし、総論は新制度総論+遺伝子関連検査となる。

5. 第38回臨床検査専門医認定試験実行委員会 遺伝子関連検査学領域委員について（東田修二 臨床検査専門医認定試験 実行委員長）

2021年度の第38回臨床検査専門医認定試験から「遺伝子関連検査学」が試験科目に加わるため、領域担当の試験実行委員4名が提示され、承認された。

6. 教育委員会報告（橋口照人 教育委員会 委員長）

2020年5月30日（土）、第76回関東甲信越支部例会に合わせて予定していたRCPCは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止した。

2020年9月19日（土）、第32回関東甲信越支部総会に合わせて、信州大学より、RCPCをWebinerによりLIVE配信で開催し130名が参加した。

第67回学術集会で、委員会企画として、2020年11月21日（土）：RCPC 1、RCPC 2（臨床検査領域講習1単位として申請中）、2020年11月22日（日）：Catch Upセミナー（臨床検査領域講習各1単位、合計3単位として申請中）を予定している。

当初予定していた第67回学術集会での企画をe-learningとすることについては、本学術集会がLIVEとオンデマンドで配信されるため中止した。今後、e-learning用のコンテンツを別途作成する予定である。以上が報告された。

7. 専門医関連事項について（村上正巳 委員長、山田俊幸 専門医担当理事）

- 1) 2021年度専攻医登録については、11月初旬となる予定であるが、カリキュラム制研修については2020年4月に承認された承認整備基準に基づいて登録、研修がなされることになるが、これまでと大きく変わらないが、理由書の提出が必要となる。
- 2) 日本専門医機構でシーリングの対象外の、臨床研究医コースの募集があった。これは、7年かけて専門医を取得しスタッフとして残り研究を進める。当領域は応募者がなかった。なお、来年以降も続く。
- 3) サブスペシャルティ領域新専門医制度について、新制度開始までの手順が、資料として示された。

基本領域または機構に基本領域サブスペ領域連絡協議会を設置し、基本領域が関係するサブスペシャルティ領域の専門医制度の検討と調整を行う。

サブスペシャルティ領域専門医検討委員会は、サブスペシャルティ領域が主体となり設置されサブスペシャルティ領域専門医の研修の在り方を検討する。

臨床検査専門医に占める割合により、3種類のカテゴリーがありそれに該当することが必要であり、サブスペシャルティ領域と合意することになるが、今後、関連するサブスペシャルティ領域、また、基本領域と調整していくことになる。

8. 評議員（社員）再認予定者（2021/1/1 付）について（村上正巳 評議員資格審査委員会 委員長）

ここからは、評議員資格審査委員会となる。

評議員再認は、社員総会の承認が必要であり、1月1日より任期開始となるため、2020年11月19日の臨時社員総会で2021年1月1日付評議員再認定予定者48名の承認を得る必要があるため、評議員審査委員会で審議され、予定者48名については、再任者として承認された。

ただし、評議員資格審査委員会、臨時社員総会で承認されても、再認定の単位を満たさない場合は退任となる。今後、評議員は再認申請をし、その申請結果を2020年12月26日の評議員審査委員会を開催して審査する。

9. その他

村上正巳審議会委員長より、次回の臨床検査専門医・管理医審議会開催日程が報告され、本会議は閉会された。

・第3回：2020年12月26日（土）14：00～16：00